

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュきたく		
○保護者評価実施期間	2026年 5月 18日 ～ 2026年 5月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年 5月 18日 ～ 2026年 5月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団行動での強制はしない。	ご本人の「やってみたい」という意欲を大切にし、遊びを通して発見・学びを得られるように支援している。	職員全体の知識を高めるために、研修に参加していく。研修を受けた職員は他の職員にも周知し、職員全体のスキルアップを図る。
2	自然と子供達が学べる環境作りを目指している。	子供達が過ごしやすいように、日々の環境設定の見直しを行っている。（絵カード、自己紹介カード、お誕生日カード、季節に応じた壁紙等）	プリント課題の時間を設け、こちらで用意したプリントに取り組んでもらう。その際には正しい姿勢で鉛筆の正しい持ち方の習得も目指す。
3	子供達の連絡や、日々の子供達の様子を理解していただくために連絡ツールアプリを活用している。	連絡ツールアプリを使い、保護者との連絡事項や、日々の子供達の様子をその都度お知らせしている。	送迎時にも保護者の方に常に情報交換できるようにコミュニケーションを図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない。	意図的に外部との交流が持てるような場には参加できていない。	地域交流できるようなイベントを設け、積極的に参加していく。
2	保護者交流をする場や兄弟同士で交流する場を設ける等の支援がかけられている。	保護者同士の関りが持てる場の支援がされてない。	今後保護者懇親会を開催することを検討している。
3			